

秘密のつもりでも 公開されるのが インターネット

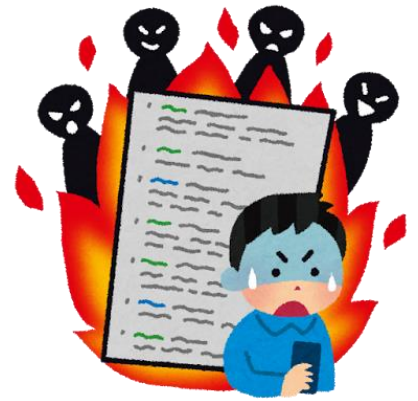


大人にとっては「公開の場」であるインターネット上に何かを書き込むのは緊張することです。万が一トラブルになったら困ると考えると、手が止まります。でも子どもたちは怖さをまるで感じていないかのようです…。

自分の書き込みなど注目を集めるわけがない

子どもたちに人気のあるブログや交流サイトには世界中からたくさんの書き込みがあります。普通に使っている限り、「友人以外の目に触れることは無い」と子どもたちは自然に考えることかもしれません。

しかし、ちょっとしたキッカケで投稿内容が急に注目を集めることは珍しくありません。ネット上で批判的なコメントなどが殺到している状況を「炎上」と呼びますが、対象は有名人に限らず、これまでに多くの「普通の子」がその対象となっています。



二人だけ、グループ内だけだから大丈夫

ブログなどが公開されるのは当然としても、「メールやメッセージを使ったやりとりなら秘密は守られるのでは？」と大人でもつい誤解しがちです。

もちろん、サービス提供事業者からやりとりが漏れることは普通では考えられません。でも、やりとりの相手や参加グループの誰か一人が、やりとりの画面を画像として保存して、外部に送ってしまったら…。

インターネット上にはそのようにして「流出」してしまったプライベートなやりとりが数多く「公開」されています。



ご家庭での対応

インターネットは、デジタルデータを確実に共有することを優先して作られたものです。その成り立ちとそれを支えるための仕組みが、「秘密のつもりでも公開されてしまう」というインターネットの特性を形作っています。私たち大人が直感的に交流サイトやブログの利用や投稿をためらう警戒感も、的外れではないのです。

ところが手元の機器の画面だけを見ている子どもには、第三者の視線の存在を想像することは難しいようです。大人にとって当たり前すぎる「誰に見られるか分からない」という点について、あらためて口に出して注意する必要があります。